

FISH Hybridization Buffer and Mounting Buffer

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: FISH Hybridization Buffer and Mounting Buffer		
品番 (化学検査キット)	: G9407A, G9408A		
部品番号	FISH Hybridization Buffer	G9400-60000	
	FISH Mounting Buffer	G9403-60000	
供給者/ 製造者	: 会社名 アジレント・テクノロジー株式会社		
	住所 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1		
	電話番号 +81-42-660-3111		
緊急連絡電話番号 (受付時間)	: CHEMTREC®: +(81)-345209637		
化学製品の推奨される用途	: 分析試薬。		
	FISH Hybridization Buffer	0.1 ml	
	FISH Mounting Buffer	0.1 ml	

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

FISH Hybridization Buffer

H315	皮膚刺激性 - 区分2
H319	眼刺激性 - 区分2A
H351	発がん性 - 区分2
H360	生殖毒性 - 区分1B
H373	特定標的臓器毒性 (反復ばく露) - 区分2

FISH Mounting Buffer

H320	眼刺激性 - 区分2B
H317	皮膚感作性 - 区分1
H412	水生環境有害性 (長期間) - 区分3

FISH Hybridization Buffer 水生環境に対する未知の危険有害性成分から成る混合物のパーセンテージ: 10%

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル

: FISH Hybridization Buffer



FISH Mounting Buffer



注意喚起語

: FISH Hybridization Buffer
FISH Mounting Buffer危険
警告

危険有害性情報

: FISH Hybridization Buffer

H315 - 皮膚刺激。
H319 - 強い眼刺激
H351 - 発がんのおそれの疑い。
H360 - 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
H373 - 長期にわたる, 又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。(血液)
H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H320 - 眼刺激。
H412 - 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き

2. 危険有害性の要約

安全対策	: FISH Hybridization Buffer	P201 - 使用前に取扱説明書を入手すること。 P280 - 保護手袋, 衣類および保護眼鏡又は保護面を着用すること。 P260 - 蒸気を吸入しないこと。 P264 - 取扱い後はよく洗うこと。 P280 - 保護手袋を着用すること。 P273 - 環境への放出を避けること。 P261 - 蒸気の吸入を避けること。
	FISH Mounting Buffer	
応急措置	: FISH Hybridization Buffer	P308 + P313 - ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察または手当を受けること。 P362 + P364 - 汚染された衣類を脱ぎ, 再使用する場合には洗濯をすること。 P302 + P352 - 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
	FISH Mounting Buffer	
保管	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	該当しない 該当しない
廃棄	: FISH Hybridization Buffer	P501 - 内容物および容器を現地、地域、国および国際的規則に従って廃棄すること。
	FISH Mounting Buffer	P501 - 内容物および容器を現地、地域、国および国際的規則に従って廃棄すること。
補足的なラベル要素	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	認知済みのものは無し。 認知済みのものは無し。
他の有害性	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	認知済みのものは無し。 認知済みのものは無し。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	混合物 混合物
-------------	---	------------

CAS 番号/他の特定名

化学名又は一般名	%	CAS 番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
FISH Hybridization Buffer ホルムアミド デキストラン硫酸ナトリウム 塩化ナトリウム	≥50 - ≤75 ≥10 - <20 ≤10	75-12-7 9011-18-1 7647-14-5	2-681 8-561 1-236	2-681 (8)-561 7-(3)-1053
FISH Mounting Buffer グリセリン p-フェニレンジアミン	≥90 0.10	56-81-5 106-50-3	2-242 3-185; 5-4998	(2)-242 3-185; 5-4998

4. 応急措置

吸入した場合	: FISH Hybridization Buffer	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。医師の診断を受ける。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。
	FISH Mounting Buffer	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸していない場合、呼吸が不規則な場合、あるいは呼吸停止が起きた場合には、適切な訓練を受けた者が人工呼吸あるいは酸素吸入を行う。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエ

4. 応急措置

皮膚に付着した場合 : FISH Hybridization Buffer

FISH Mounting Buffer

トバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

多量の水で、汚染された皮膚を洗浄する。汚染された衣服および靴を脱がせる。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。少なくとも10分間洗い流し続ける。医師の診断を受ける。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。

多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された衣服および靴を脱がせる。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。少なくとも10分間洗い流し続ける。医師の診断を受ける。何らかの不快感や症状があるときはそれ以上の暴露を避ける。衣類は、再着用の前に洗濯する。靴は再使用前に十分に洗浄する。

眼に入った場合 : FISH Hybridization Buffer

FISH Mounting Buffer

すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも10分間洗い流し続ける。医師の診断を受ける。

すぐに多量の水で、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。少なくとも10分間洗い流し続ける。炎症がおさまらない場合、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : FISH Hybridization Buffer

FISH Mounting Buffer

水で口を洗浄する。入歯をしている場合ははずす。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。医師の診断を受ける。意識がない場合、決して口からも物を与えてはならない。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

水で口を洗浄する。入歯をしている場合ははずす。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。物質を飲み込んだ場合、被災者の意識があれば少量の水を飲ませる。嘔吐すると危険なことがあるので、もし被災者の気分が悪くなったらそれ以上水を飲ませてはならない。医師の指示がない限り、吐かせてはならない。もし嘔吐が起きた場合は嘔吐物が肺に入らないように頭を低い位置に保つ。健康上有害な影響が持続または重篤な場合には医師の診断を受ける。意識がない場合、決して口からも物を与えてはならない。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。気道を開いた状態に維持する。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。

最も重要な徴候及び症状

予想される急性健康影響

吸入した場合 : FISH Hybridization Buffer
FISH Mounting Buffer

重大な作用や危険有害性は知られていない。
重大な作用や危険有害性は知られていない。

皮膚に付着した場合 : FISH Hybridization Buffer
FISH Mounting Buffer

皮膚刺激。
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

眼に入った場合 : FISH Hybridization Buffer
FISH Mounting Buffer

強い眼刺激
眼刺激。

飲み込んだ場合 : FISH Hybridization Buffer
FISH Mounting Buffer

重大な作用や危険有害性は知られていない。
重大な作用や危険有害性は知られていない。

過剰にばく露した場合の徴候症状

吸入した場合 : FISH Hybridization Buffer

有害症状には以下の症状が含まれる:

胎児体重の減少
子宮内胎児死亡の増加
骨格の変形
特にデータは無い。

FISH Mounting Buffer

4. 応急措置

皮膚に付着した場合	: FISH Hybridization Buffer	有害症状には以下の症状が含まれる: 刺激 充血 胎児体重の減少 子宮内胎児死亡の増加 骨格の変形
	FISH Mounting Buffer	有害症状には以下の症状が含まれる: 刺激 充血
眼に入った場合	: FISH Hybridization Buffer	有害症状には以下の症状が含まれる: 痛み及び刺激 流涙 充血
	FISH Mounting Buffer	有害症状には以下の症状が含まれる: 刺激 流涙 充血
飲み込んだ場合	: FISH Hybridization Buffer	有害症状には以下の症状が含まれる: 胎児体重の減少 子宮内胎児死亡の増加 骨格の変形
	FISH Mounting Buffer	特にデータは無い。
応急処置をする者の保護	: FISH Hybridization Buffer	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。
	FISH Mounting Buffer	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。
医師に対する特別な注意事項	: FISH Hybridization Buffer	火災による分解生成物を吸入した場合、症状は遅れて発生することがある。暴露された人を48時間医師の観察下に置く必要がある。
	FISH Mounting Buffer	症状に対応した対処療法を行うこと。大量に摂取あるいは吸引した場合は、直ちに毒物治療の専門医に連絡する。

5. 火災時の措置

消火剤	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	火災に応じた消火剤を使用する。 火災に応じた消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	認知済みのものは無し。 認知済みのものは無し。
特有の危険有害性	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。本製品は水生生物に対して有害であり、長期にわたり持続する影響を有する。本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。
有害な熱分解生成物	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	分解生成物には以下の物質が含まれることがある: 二酸化炭素 一酸化炭素 窒素酸化物 硫黄酸化物類 ハロゲン化合物 金属酸化物 分解生成物には以下の物質が含まれることがある: 二酸化炭素 一酸化炭素

5. 火災時の措置

特有の消火方法	: FISH Hybridization Buffer	火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
	FISH Mounting Buffer	
消火を行う者の保護	: FISH Hybridization Buffer	火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェイス部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。 消火を行う者は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェイス部分を備えた自給式の呼吸器具を装着しなければならない。
	FISH Mounting Buffer	

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

非緊急時対応要員について	: FISH Hybridization Buffer	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。蒸気や噴霧の吸入を避ける。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護装置を着用する。
	FISH Mounting Buffer	
緊急時対応要員について	: FISH Hybridization Buffer	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。蒸気や噴霧の吸入を避ける。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護具を着用する。適切な個人保護装置を着用する。 流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。
	FISH Mounting Buffer	
環境に対する注意事項	: FISH Hybridization Buffer	流出分の取り扱いに専用衣類が必要な場合には、適切および不適切な物質に関するセクション8に記載の情報に注意しなければならない。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。
	FISH Mounting Buffer	
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: FISH Hybridization Buffer	漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。水質汚染物質である。大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。 危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水溶性なら水で希釈してぬぐい取る。あるいは、または水に不溶性の場合、乾燥した不活性吸収剤に吸着させ、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
	FISH Mounting Buffer	

7. 取扱い及び保管上の注意

安全に取扱うための注意事項

安全取扱注意事項

: FISH Hybridization Buffer

適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。暴露を避けること—使用前に取扱説明書入手すること。妊娠中は暴露を避ける。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。眼、皮膚および衣類に触れないようにする。蒸気やミストを呼吸しない。摂取してはならない。当物質の通常取り扱い中に呼吸器官への有害危険性が存在する場合は、必ず適切な換気装置を使用するか、あるいは適切な呼吸用保護具を着用する。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。容器が空でも製品の残留物が残存して有害危険性がある。容器を再利用してはならない。

FISH Mounting Buffer

適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。皮膚感作障害の病歴を持つ人を、本製剤が使用されるいかなる工程にも就業させてはならない。眼、皮膚および衣類に触れないようにする。摂取してはならない。蒸気や噴霧の吸入を避ける。環境への放出を避けること。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。容器が空でも製品の残留物が残存して有害危険性がある。容器を再利用してはならない。

衛生対策

: FISH Hybridization Buffer

本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業者は飲食、喫煙の前に手を洗うこと。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

FISH Mounting Buffer

保管

安全な保管条件

: FISH Hybridization Buffer

現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。施錠して保管すること。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いはまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

FISH Mounting Buffer

現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。非相溶性材料については取扱いはまたは使用の前にセクション10を参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

: ユーザーの作業により粉塵、ヒューム、ガス、蒸気またはミストが発生する場合は、作業行程の囲い込み、局所的排気通風装置あるいはその他の技術的制御により、作業者の空中に浮遊している汚染物質への暴露を全ての推奨値あるいは法定限度以下に保つこと。

曝露限界

化学名又は一般名	曝露限界値
FISH Mounting Buffer p-フェニレンジアミン	日本産業衛生学会(日本、5/2019)。皮膚感作物質。 OEL-M: 0.1 mg/m ³ 8時間。

保護具

8. ばく露防止及び保護措置

- 呼吸用保護具** : 危険性と暴露の可能性に基づき、適切な基準または認証を満たすマスクを選択すること。マスクは、呼吸保護プログラムに従って使用し、適切な付け心地、トレーニング、および使用上のその他の側面を確実にすること。
- 手の保護具** : リスク評価によって必要とされる場合は、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。手袋製造業者により特定されたパラメータを考慮して、手袋の使用中に手袋がまだ保護性を維持しているかを確認すること。あらゆる手袋の材料は製造業者が異なれば透過時間も異なる可能性があることに注意する必要がある。いくつかの物質から成る混合物の場合には、手袋の保護時間を正確に推定することはできない。
- 眼の保護具** : リスク評価によって必要とされる場合は、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。接触の可能性がある場合、評価によってより高次の保護が指摘されている場合を除いて次の保護具を着用しなければならない: 耐化学物質飛沫よけゴーグル。
- 皮膚及び身体の保護具** : 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	液体 液体
色	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	データなし データなし
臭い	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	データなし データなし
臭いのしきい値	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	データなし データなし
pH	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	データなし 7.5 から 8
融点・凝固点	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	データなし データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	データなし データなし
引火点	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	データなし データなし
蒸発速度	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	データなし データなし
燃焼性(固体、気体)	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	該当しない 該当しない
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	データなし データなし
蒸気圧	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	データなし データなし
蒸気密度	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	データなし データなし
比重(相対密度)	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	データなし データなし
溶解度	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	以下の物質に容易に溶解する: 冷水 および 温水。 以下の物質に溶解: 冷水 および 温水。
n-オクタノール/水分配係数	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	データなし データなし
自然発火温度	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	データなし データなし
分解温度	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	データなし データなし
粘度	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	データなし データなし
<u>その他のデータ</u>		
燃焼点	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	データなし データなし
分子量	: FISH Hybridization Buffer FISH Mounting Buffer	該当しない 該当しない

9. 物理的及び化学的性質

追加情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	: FISH Hybridization Buffer	この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
	FISH Mounting Buffer	この製品またはその成分に関しては、反応性に関する利用可能な具体的試験データはない。
化学的安定性	: FISH Hybridization Buffer	製品は安定である。
	FISH Mounting Buffer	製品は安定である。
危険有害反応可能性	: FISH Hybridization Buffer	通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
	FISH Mounting Buffer	通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。
避けるべき条件	: FISH Hybridization Buffer	特にデータは無い。
	FISH Mounting Buffer	特にデータは無い。
混触危険物質	: FISH Hybridization Buffer	酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。
	FISH Mounting Buffer	酸化剤とは反応することがあるか、危険配合物質。
危険有害な分解生成物	: FISH Hybridization Buffer	通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。
	FISH Mounting Buffer	通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	投与量	暴露時間
FISH Hybridization Buffer ホルムアミド	LC50 吸入した場合 微塵および噴霧	ラット - オス	>21 mg/l	4 時間
	LD50 経皮	ウサギ	17 g/kg	-
	LD50 経口	ラット	4000 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	20600 mg/kg	-
デキストラン硫酸ナトリウム 塩化ナトリウム	LD50 経口	ラット	3000 mg/kg	-
	LD50 経口	ラット	12600 mg/kg	-
	LC50 吸入した場合 微塵および噴霧	ラット	920 mg/m ³	4 時間
	LD50 経口	ラット	80 mg/kg	-

急性毒性の推定

製品 / 成分の名称	経口 (mg/kg)	経皮 (mg/kg)	吸入 (ガス) (ppm)	吸入 (蒸気) (mg/l)	吸入 (ダストおよびミスト) (mg/l)
FISH Hybridization Buffer	34285.7	N/A	N/A	N/A	N/A
FISH Hybridization Buffer ホルムアミド	4000	17000	N/A	N/A	N/A
デキストラン硫酸ナトリウム	20600	N/A	N/A	N/A	N/A
塩化ナトリウム	3000	N/A	N/A	N/A	N/A
FISH Mounting Buffer	12600	N/A	N/A	N/A	N/A
グリセリン	80	N/A	N/A	N/A	0.92
p-フェニレンジアミン					

刺激性/腐食性

11. 有害性情報

製品 / 成分の名称	結果	種類	スコア	暴露時間	観察
FISH Hybridization Buffer ホルムアミド 塩化ナトリウム	眼 - 強度の刺激	ウサギ	-	100 mg	-
	眼 - 中程度の刺激	ウサギ	-	24 時間 100 mg	-
	眼 - 中程度の刺激	ウサギ	-	10 mg	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 mg	-
FISH Mounting Buffer グリセリン	眼 - 軽度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 mg	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	24 時間 500 mg	-
p-フェニレンジアミン	皮膚 - 軽度の刺激	マウス	-	24 時間 250 mg	-
	皮膚 - 軽度の刺激	ウサギ	-	24 時間 12500 ug	-
	皮膚 - 中程度の刺激	ウサギ	-	24 時間 250 mg	-
	皮膚 - 中程度の刺激	ヒト	-	1 %	-

呼吸器感作/皮膚感作

データなし

結論/要約

皮膚 : 皮膚感作を起こすことがある。

生殖細胞変異原性 (変異原性)

データなし

発がん性

データなし

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	カテゴリ	暴露経路	標的器官
FISH Hybridization Buffer デキストラン硫酸ナトリウム	区分3	-	気道刺激性
FISH Mounting Buffer p-フェニレンジアミン	区分1	-	心臓、腎臓、筋肉組織

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	カテゴリ	暴露経路	標的器官
FISH Hybridization Buffer ホルムアミド	区分2	経口	血液
FISH Mounting Buffer p-フェニレンジアミン	区分1 区分2	-	腎臓、肝臓、神経系 心臓、筋肉組織

吸引性呼吸器有害性

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

製品 / 成分の名称	結果	種類	暴露時間
FISH Hybridization Buffer 塩化ナトリウム	急性 EC50 4.74 g/L 真水 急性 EC50 519.6 mg/l 真水 急性 IC50 6.87 g/L 真水 急性 LC50 1000000 µg/l 真水 慢性 LC10 781 mg/l 真水	藻類 - Chlamydomonas reinhardtii 甲殻類 - Cypris subglobosa 水生植物 - Lemna minor 魚類 - Morone saxatilis - 幼虫 甲殻類 - Hyalella azteca - 幼若体(ひな鳥、孵化したての幼魚、離乳子畜) 水生植物 - Lemna minor ミジンコ類 - Daphnia pulex 魚類 - Gambusia holbrooki - 成体	96 時間 48 時間 96 時間 96 時間 3 週
	慢性 NOEC 6 g/L 真水 慢性 NOEC 0.314 g/L 真水 慢性 NOEC 100 mg/l 真水	水生植物 - Lemna minor ミジンコ類 - Daphnia pulex 魚類 - Gambusia holbrooki - 成体	96 時間 21 日 8 週
FISH Mounting Buffer グリセリン p-フェニレンジアミン	急性 LC50 54000 mg/l 真水 急性 LC50 3.9 mg/l 真水 慢性 NOEC 0.00501 mg/l 真水	魚類 - Oncorhynchus mykiss 魚類 - Oncorhynchus mykiss ミジンコ類 - Daphnia magna	96 時間 96 時間 21 日

残留性・分解性

製品 / 成分の名称	テスト	結果	投与量	植種源
FISH Hybridization Buffer ホルムアミド	OECD 301A Ready Biodegradability - DOC Die-Away Test	99 % - 容易 - 28 日	-	-
FISH Mounting Buffer グリセリン	301D Ready Biodegradability - Closed Bottle Test	93 % - 30 日	-	-

製品 / 成分の名称	水中における半減期	光分解	生分解性
FISH Hybridization Buffer ホルムアミド	-	-	容易
FISH Mounting Buffer p-フェニレンジアミン	-	-	容易ではない

生体蓄積性

製品 / 成分の名称	LogP _{ow}	BCF	可能性
FISH Hybridization Buffer ホルムアミド	-0.82	-	低
FISH Mounting Buffer グリセリン p-フェニレンジアミン	-1.76 -0.839	- -	低 低

土壌中の移動性

: データなし

オゾン層への有害性

: 該当しない

他の有害影響

: 重大な作用や危険有害性は知られていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

: 廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。管轄当局の要件に完全に準拠しない限り、廃棄物を無処理で下水道に流してはならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14. 輸送上の注意

UN / IMDG / IATA

: 規定なし。

使用者のための特別な予防措置

: **使用者の施設内での輸送:** 直立型の安定した容器に入れて輸送する。本製品の輸送者が事故や漏出の際の対処法を理解していることを確認する。

IMO機器によるばら積み運搬

: データなし

15. 適用法令

消防法

カテゴリ	物質名／種類	危険性区分	注意喚起語	指定数量
FISH Hybridization Buffer 第四類	以下を含む物質：第三石油類（水溶性）	III	火気厳禁	4000 L
FISH Mounting Buffer 第四類	以下を含む物質：第三石油類（水溶性）	III	火気厳禁	4000 L

消防法 - 消防活動阻害物質

: 非該当

安衛法

名称等を表示すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	状況	政令番号
FISH Hybridization Buffer ホルムアミド	該当	547

名称等を通知すべき危険物及び有害物

化学名又は一般名	状況	政令番号
FISH Hybridization Buffer ホルムアミド	該当	547
FISH Mounting Buffer フェニレンジアミン	該当	472

化学物質審査規制法

記載された成分なし。

毒物及び劇物取締法

記載された成分なし。

化学物質排出把握管理促進法

記載された成分なし。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付 : 2021/02/22

前作成日 : 2019/03/13

バージョン : 5

略語の解説

ATE = 急性毒性推定値
 BCF = 生物濃縮係数
 GHS = 化学品の分類および表示に関する世界調和システム
 IATA = 国際航空輸送協会
 IBC = 中型運搬容器
 IMDG = 国際海上危険物
 LogPow = オクタノール/水の分配係数の対数
 MARPOL = 海洋汚染防止条約、1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978年の議定書。 ("Marpol" = 海洋汚染)
 N/A = データなし
 UN = 国際連合

分類を行うために使用する手順

分類	由来
FISH Hybridization Buffer 皮膚刺激性 - 区分2 眼刺激性 - 区分2A 発がん性 - 区分2 生殖毒性 - 区分1B 特定標的臓器毒性(反復ばく露) - 区分2	算出方法 算出方法 算出方法 算出方法 算出方法
FISH Mounting Buffer 眼刺激性 - 区分2B 皮膚感作性 - 区分1 水生環境有害性(長期間) - 区分3	算出方法 算出方法 算出方法

参照 : データなし

前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

使用者への注意: このデータシートは作成時における最新情報に基づいて作成されています。しかしながら記載されている内容は情報提供であり、その正確性あるいは完全性に関していかなる保証をなすものではありません。